

別紙 1

平成 25 年度 事業計画

[本年度の目標]

本学会の公益目的事業の円滑な遂行を図るとともに、社会との接点を広げ、学術研究の成果として得られる情報を学会内で学の立場から統合・整理・発展させ、広く社会に発信していく活動を充実させるため、以下の事業を行う。また、昨年度設置された東日本大震災災害復興支援検討委員会での審議に基づいて、東日本大震災の被災地における水産業の復興支援に係る事業を本年度も継続して行うこととする。

1. 役員会・組織運営等に関する事項

(1) 総会

定時社員総会は、定款第 13 条に基づき、平成 25 年 3 月 28 日に開催する。また、必要がある場合には臨時社員総会を開催する。

(2) 理事会

通常理事会は、定款第 29 条及び理事会運営規程第 2 条 2 項に基づき、7 回開催する。また、理事会運営規程第 2 条 3 項による臨時理事会は随時開催する。

(3) 支部

a) 北海道支部

支部総会を年 1 回、支部幹事会を年 1 回開催する（開催日未定）。

b) 東北支部

支部総会を年 1 回（平成 26 年 2 月予定）開催する。支部幹事会、支部連絡幹事会、支部幹事・支部連絡幹事合同会議は必要に応じて随時開催する。

c) 関東支部

支部幹事会を年 1 回開催する（平成 25 年 6 月予定、於東京大学農学部）。

d) 中部支部

支部幹事会を年 1 回開催する（平成 25 年 9 月 21 日予定、於三重大学）。

e) 近畿支部

支部幹事会を年 1 回開催する（開催日未定）。

f) 中国・四国支部

支部幹事会を年 1 回開催する（開催日未定）。

g) 九州支部

支部総会を年 1 回（平成 26 年 1 月下旬）、支部幹事会を年 3 回（平成 25 年 6 月、9 月下旬～10 月上旬、平成 26 年 1 月下旬）開催する。

(4) 委員会

a) 編集委員会

学会誌の編集方針、原稿の書き方、印刷物の体裁、オンライン投稿と編集作業に関する手続き等及び論文賞候補の推薦に係る必要事項を審議するため、年 4 回定期的に開催するほか、必要に応じて随時開催する。

b) 企画広報委員会

和文誌に掲載する記事の企画を行うほか、和文誌の編集発行、学会ホームページの運営及び新たな事業の企画と広報に関する業務について審議するため、隔月 1 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

c) 学会賞選考委員会

学会賞受賞者の推薦に関する事項を審議するため、学会賞授賞規程第 5 条に基づき、年 2 回以上開催する。

d) シンポジウム企画委員会

シンポジウムとミニシンポジウムの題目、企画責任者、及び水産学シリーズへの刊行の推薦について審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

e) 出版委員会

水産学シリーズの出版企画、水産学シリーズ以外の学術図書の出版企画、出版社との契約事項等を審議するため、年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。

- f) ベルソーブックス委員会
ベルソーブックスの企画・編集，一般向け図書の企画刊行に関する事項を審議するため，年3回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- g) 水産環境保全委員会
水産環境の保全に関連する諸事項について審議し，理事会の承認を得て行うシンポジウム，講演会の企画・開催等の関連する業務を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- h) 漁業懇話会委員会
懇話会，講演会，研究会等の企画，開催に関する事項を審議するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- i) 水産利用懇話会委員会
懇話会，講演会，研究会等の企画，開催に関する事項を審議するため，年3回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- j) 水産増殖懇話会委員会
懇話会，講演会，研究会等の企画，開催に関する事項を審議するため，年3回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- k) 国際交流委員会
国際交流に関する諸事項を審議するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- l) 選挙管理委員会
理事及び監事の候補者，学会賞選考委員の選挙ならびに役員欠員のための選挙に関する審議，業務を行うため，必要に応じて随時開催する。
- m) 水産教育推進委員会
水産教育にかかわる事項について審議し，理事会の承認を得て行う事業を実施するため，年4回開催する。
- n) 水産技術誌監修委員会
水産分野の技術者，研究者，事業者等を対象として独立行政法人水産総合研究センターが企画・編集し，定期的に刊行する和文誌「水産技術」について，編集の方針を提示し，編集の監督を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- o) 水産政策委員会
会長あるいは理事会の諮問に対応して各種の提言案を作成し，理事会に答申するため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。
- p) 男女共同参画推進委員会
本学会における男女共同参画に関する諸事項を審議し，関連の業務を行うため，年2回開催するほか，必要に応じて随時開催する。

[公益目的事業 1]

研究発表会及び学術講演会・シンポジウムの開催ならびに研究業績の表彰による水産学の学術の発展と科学技術の振興を推進するため，以下の事業を行う。

2. 研究発表会及び学術講演会等の開催による水産学研究の推進事業（定款第4条1項1号に定める事業）

(1) 研究発表会

- a) 春季大会：平成25年3月26日(火)～3月30日(土)
於 東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）
大会委員長 黒倉 壽
研究発表 口頭，ポスター
高校生によるポスター発表
シンポジウム 3件，ミニシンポジウム 2件
平成24年度学会賞受賞者講演 13題
- b) 秋季大会：平成25年9月19日(木)～9月22日(日)
於 三重大学（三重県津市）

大会委員長 加納 哲
 研究発表 口頭, ポスター
 シンポジウム, ミニシンポジウムの開催

(2) シンポジウム

春季大会開催時(平成 25 年 3 月 30 日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

- a) 「水産における光利用技術と基礎研究の動向」
 企画責任者: 渡部俊広・安樂和彦・吉松隆夫
- b) 「メチル水銀のリスクと魚食のベネフィット」
 企画責任者: 白井展也・鈴木敏之・山下倫明・横山芳博
- c) 日本水産学会創立 80 周年記念シンポジウム「日本水産学会のこれから-東日本大震災を越えて」
 主催: 理事会

秋季大会開催時(平成 25 年 9 月 19 日, 22 日, 於三重大学)

数件を開催予定

(3) ミニシンポジウム

春季大会開催時(平成 25 年 3 月 30 日, 於東京海洋大学品川キャンパス)

- a) 「水圏におけるハイブリッドとクローン—生態系における役割と応用可能性—」
 企画責任者: 荒井克俊・古丸 明・宗原弘幸
- b) 「小型底びき網漁業における省エネ・省力化を目指した技術開発」
 企画責任者: 胡 夫祥・熊沢泰生・不破 茂・永松公明・藤森康澄・東海 正

秋季大会開催時(平成 25 年 9 月 19 日, 22 日, 於三重大学)

数件を開催予定

(4) 各支部が行う研究発表会及び講演会

- a) 北海道支部
 - ①支部大会の開催(シンポジウム, 若手の会主催講演会, 開催日未定)
- b) 東北支部
 - ①支部大会の開催(平成 25 年 11 月予定)
 - ②支部例会の開催(平成 26 年 2 月予定)
- c) 関東支部
 - ①講演会の開催(開催日未定)
- d) 中部支部
 - ①支部大会の開催(シンポジウム「中部支部における『水産』に貢献する人材キャリアパス形成の現状と課題」, ポスター発表, 平成 25 年 9 月 21 日予定, 於三重大学)
- e) 近畿支部
 - ①支部前期例会の開催(シンポジウム, 開催日未定)
 - ②支部後期例会の開催(研究発表, 平成 25 年 12 月予定)
- f) 中国・四国支部
 - ①支部例会の開催(開催日未定)
- g) 九州支部
 - ①支部例会の開催(シンポジウム, 平成 25 年 9 月下旬~10 月上旬予定)
 - ②支部大会の開催(一般講演, 高校生によるポスター研究発表, 平成 26 年 1 月下旬予定)

(5) 各委員会が行う研究発表会及び講演会

- a) 企画広報委員会
 - ①水産に関する勉強会の開催(開催日未定)
- b) 水産環境保全委員会
 - ①シンポジウム「水産環境における放射性物質の汚染とその影響」の開催(平成 25 年 3 月 30 日, 於東京海洋大学品川キャンパス)
 - ②研究会の開催(平成 25 年度日本水産学会秋季大会時, 於三重大学)
 - ③沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムの開催(開催日未定)

c) 漁業懇話会委員会

- ①第 61 回講演会「ODA への水産系の各大学のこれまでの取り組みと今後の展望（仮題）」の開催
（平成 25 年 3 月 26 日，於東京海洋大学品川キャンパス）
- ②第 62 回講演会の開催（平成 25 年 9 月 19 日，於三重大学）
- ③講演会会報の発行

d) 水産利用懇話会委員会

- ①平成 25 年度第 1 回講演会の開催（平成 25 年 10 月予定，於東京大学）
- ②平成 25 年度第 2 回講演会の開催（平成 26 年 2 月予定，於東京大学）

e) 水産増殖懇話会委員会

- ①平成 25 年度第 1 回講演会「カワハギ科魚類の養殖の現状と課題（仮題）」の開催（平成 25 年 9 月 19 日，於三重大学）
- ②平成 25 年度第 2 回講演会の開催（平成 25 年 12 月～平成 26 年 1 月予定）

f) 国際交流委員会

- ①日本水産学会創立 80 周年記念シンポジウム（第 3 回日米水産学会合同シンポジウム）の開催（平成 25 年 3 月 30 日）
- ②第 1 回日中韓合同シンポジウムの開催（平成 25 年 4 月 30 日，韓国麗水市）

g) その他

3. 関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業（定款第 4 条 1 項 3 号に定める事業）

(1) 関連学会等との連絡及び協力

a) 第 50 回アイソトープ・放射線研究発表会の共催

主催 日本アイソトープ協会，共催 応用物理学会 他 60 学協会
平成 25 年 7 月 3 日～5 日，於東京大学 弥生講堂（東京都文京区）

b) Symposium on Underwater Technology 2013 の協賛

主催 東京大学生産技術研究所，東京大学地震研究所，IEEE/OES Japan Chapter，海洋研究開発機構，協賛 土木学会 他 9 団体
平成 25 年 3 月 5 日～8 日，於東京大学生産技術研究所駒場リサーチキャンパス会議棟（東京都目黒区）

c) 第 15 回マリンバイオテクノロジー学会大会への協賛

主催 マリンバイオテクノロジー学会，協賛 日本農芸化学会 他 27 学協会
平成 25 年 6 月 1 日・2 日，於沖縄県町村自治会館（沖縄県那覇市）

d) その他，関連学会等が主催する講演会等の共催，協賛，後援

(2) 日本学術会議が行う事業への協力

(3) 日本農学会が行う事業への協力

(4) (公財)農学会が行う事業への協力

a) 技術者教育推進委員会委員を派遣

(5) 海外との学術交流等

a) 第 144 回アメリカ水産学会大会（2013 年 9 月，リトルロック）へ代表者及び委員の派遣

b) 韓国水産科学会大会への代表者，委員及び招待講演者の派遣

c) 中国水産学会大会への代表者，委員及び招待講演者の派遣

d) アジア水産学会評議員会への代表者及び委員の派遣，アジア水産学会大会（日本水産学会創立 85 周年記念大会を兼ねる）の開催に向けての活動

e) 世界水産学協議会，FAO，PICES との連携

f) JICA，若手会員に対するインターンシップ，海外水産関係大会の参加等水産教育プログラムの推進

g) その他，文献交換の斡旋，外国人研究者との交流等海外との学術交流に関する事業

(6) 「水産技術誌」の監修

水産分野の技術者，研究者，事業者等を対象として独立行政法人水産総合研究センターが企画・編集し，定期的に刊行する和文誌「水産技術」を監修する。

(7) 第 33 回「海とさかな」自由研究・作品コンクールへの協力

小学生を対象とした、朝日学生新聞社主催の海と魚をテーマとした作品コンクールにおいて、募集ポスターやガイドブックの配付、ガイドブックの監修、出張講義の講師派遣等の協力を行う。また、本学会が授与する賞を創設する。

(8) 災害復興支援活動

- a) 震災関連データ共有化のためのアーカイブサイトの運営管理を行う。
- b) 東日本大震災災害復興支援検討委員会での審議に基づく活動を行う。

(9) 男女共同参画の推進

- a) 男女共同参画実態調査の解析ならびに報告書発行に関する協力

(10) その他

4. 研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款第4条1項4号に定める事業）

(1) 日本水産学会における賞の授与

学会賞授賞規程に基づき、以下の賞を授与する。

- a) 日本水産学会賞
- b) 日本水産学会功績賞
- c) 水産学進歩賞
- d) 水産学奨励賞
- e) 水産学技術賞

(2) 日本水産学会論文賞の授与

論文賞授賞規程に基づき、日本水産学会論文賞を授与する。

(3) 各支部・委員会等における表彰

(4) 他の学術関係の賞等に対する候補者の推薦

[公益目的事業2]

水産学に関する学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる情報提供を通じて、水産学研究の科学技術成果の普及を行うため、以下の事業を行う。

5. 学会誌及び学術図書の刊行による水産学研究の普及事業（定款第4条1項2号に定める事業）

(1) 学会誌の発行

- a) 日本水産学会誌第79巻2号～第80巻1号まで計6冊〔報文65編，総説，企画記事，会告，会報等総ページ約1,300ページ（各号4,100部発行予定）〕
- b) Fisheries Science 第79巻2号～第80巻1号まで計6冊〔報文120編，総説等総ページ約1,500ページ（各号450部発行予定）〕

(2) 水産学シリーズの刊行

- a) 第175号「漁業資源の繁殖特性研究—飼育実験とバイオロギングによる新たな展開」栗田 豊編，平成25年3月下旬，300部刊行予定
- b) 第176号「魚類の行動研究と水産資源管理」棟方有宗編，平成25年3月下旬，300部刊行予定
- c) 第177号「沿岸資源の増殖・管理と分子生物学的手法によるモニタリング（仮題）」有瀧真人編，平成25年9月下旬，300部刊行予定
- d) 第178号「通電加熱による高品質水産食品の開発（仮題）」福田 裕編，平成25年9月下旬，300部刊行予定

(3) ベルソープックスの刊行

- a) 第41号「アオリイカの生物学（仮題）」上田幸男・海野徹也著，2,000部発行予定
- b) 第42号「カワウ対策最前線（仮題）」坪井潤一著，2,000部発行予定
- c) 第13号，「魚貝類とアレルギー（改訂版）」塩見一雄著，2,000部発行予定
- d) その他，既刊重版 各500～1,000部発行予定